

五戸総合病院での研修生活を終えて

大阪市立大学医学部附属病院

2年次研修医 月田 智也

大阪市立大学医学部附属病院2年次研修医の月田智也です。11月の一ヶ月間五戸総合病院の外科で研修をさせていただきました。普段勤めている大学病院とは色々と異なっている部分が多く、初めは慣れない部分も多かったのですが、外科の先生方、病棟のスタッフの方々など病院の皆さんが優しく接していただけたおかげで充実した研修生活を送ることができました。

五戸総合病院では外科といっても入院している患者さんは様々で、褥瘡の処置などは今までにあまり経験することがなかったのでとても勉強になりました。手術では粉瘤や陥入爪、腹腔鏡下胆嚢摘出術など、自分ができる範囲のところでしっかりと指導していただきながら執刀させていただくことができ、将来外科志望の自分にとってとても有意義でした。また、抗がん剤治療をされている方も入院されており、手術だけではなくその後患者さんにとってどうしていくのが一番いいのか、といったところまで考えることができ、貴重な経験となりました。

特別養護老人ホームへの往診にも同行させていただく機会がありました。今までそのような施設に訪れたことはなかったのですが、施設に入所している方々がその施設を自分の家だと思えるよう、施設の内装やスタッフの接し方など気をつけているという話をお聞きし、また実際にその施設でのびのびと過ごされている方々を拝見し、深く感銘を受けました。今までそういった施設に抱いていたイメージが大きく変わり、訪れることができよかったです。

また休みの日には青森各地を旅行することができ、プライベート面も充実した一ヶ月間でした。研修に来る前は恥ずかしながら「りんご」くらいしかイメージがなかったのですが、様々な美味しい郷土料理や地酒をいただき、観光名所を周ったことで青森県の魅力を存分に堪能することができました。五戸では名産の馬肉をいただくことができ、とてもおいしかったです。またいつか青森を訪れたいなと強く思いました。

五戸総合病院での一か月は今まで経験したことのないことをたくさん経験することができ、とても有意義な一ヶ月間でした。この経験を忘れることなく、これからも精進していきます。

最後になりましたが、院長の安藤先生や管理班の中村さんをはじめ、たくさんの方々にお世話になりました。大変感謝しております。一ヶ月間本当にありがとうございました。